

News Letter

2025年6月

Vol.9

> 新任の先生よりご挨拶

> 医療トピックス

～帯状疱疹ワクチン～

発行日 2025年 6月 10日

発行者 京都大学 環境安全保健機構 産業厚生部門

〒606-8501 京都市左京区吉田本町

Tel 075 (753) 2400

<https://www.hoken.kyoto-u.ac.jp/>

～新任の先生よりご挨拶～

この度、産業厚生部門では、新しく講師の先生をお迎えいたしました。人員を充実することで、より一層、京都大学の教職員、学生の皆様の力となるよう、邁進して参ります。よろしくお願ひ申し上げます。

今井 誠一郎 先生

令和7年4月より、環境安全保健機構産業厚生部門の講師を務めることになりました今井誠一郎です。

これまで、呼吸器内科医師として患者さんの治療を行うとともに、内科医師として健康診断を通じた生活習慣の改善に携わってきました。この度は、大学の学校医・産業医として新たな役割を担い、学生や職員の皆様の健康を支え、日々の活力を維持・向上させるお手伝いをさせていただきます。早速ですが、4月には学生健診、5月には雇用時や期間外の健診を担当しました。今後は特殊健診や職員健診なども予定しておりますので、該当される方にはぜひ受診いただき、ご自身の健康状態をご確認いただければと思います。

また、学びの場や職場が安全で健やかな環境となるよう、誠実に取り組んでまいります。どうぞよろしくお願ひ申し上げます。

今年度も、皆様の健康管理に関する話題について、内科学、精神医学、公衆衛生学など、様々な観点から情報を発信して参ります。

～帯状疱疹ワクチン～

2025年春、若い世代での'帯状疱疹'流行の兆しがみられています。

もはや、高齢者のみの疾患ではありません。

子供の頃に定期接種という形で水痘ワクチンを接種していますが、免疫力低下、曝露機会の減少などにより免疫が維持できず、再活性が起きやすくなっているのかもしれない。

<どんな疾患？>

水痘・帯状疱疹ウイルスは初めての感染では、水痘（みずぼうそう）を発症します。感染すると、その後もウイルスは生涯にわたって体内に潜伏します。普段は悪さをしません。加齢、ストレス、疲れなどにより免疫力が低下すると、体内に潜んでいたウイルスが再活性化し、帯状疱疹を発症します。

はじめは皮膚がピリピリするような痛みを認め、徐々に発赤や水疱が出現します。発疹の場所によっては顔面神経麻痺や視力障害をきたすこともあります。皮疹が治った後も疼痛や感覚異常が数ヶ月から数年続くことがあり、帯状疱疹後神経痛と呼ばれます。加齢に伴って発症率が高くなり、特に50歳代から急激に増加する、とされます。

<治療>

抗ウイルス薬の内服や点滴、外用薬など。

<予防>

- ・生活リズムを整える（食事・睡眠・運動など）。ストレスの軽減など。
- ・ワクチンは、種類により50歳以上や免疫抑制状態の方で任意接種の対象となっています。

2025年4月より、65歳以上の方を対象に定期接種になりました。（注：各自治体により、対象年齢や補助金に違いがあります。）



※あたらしい皮膚科学 中山書店より

	生ワクチン	組換えワクチン
成分	弱毒化したウイルス	ウイルスの成分
接種方法	皮下	筋肉内
接種回数	1回	2回（2ヶ月以上の間隔あける）
条件	免疫抑制状態の方、妊娠中の方は接種できない 対象：50歳以上	- 対象：50歳以上。または、帯状疱疹のリスクが高い18歳以上
予防効果	60歳以上で約50%	50歳以上で98%前後
効果持続	5年前後	10年以上
費用	7000 - 10000円（病院によって異なる）	40000-50000円（病院によって異なる）

気になる症状がある場合は、内科や皮膚科を受診しましょう。

吉田キャンパス健康管理室（全学の保健室）

◆場所

吉田キャンパスの正門をいって西側、カンフォーラの隣にある2階建てのレンガ造りの建物です。

☎ 075-753-2405

◆開室日

平日（月～金）9：00～17：00

※健康診断などで閉室していることもあります。

宇治分室（本館E棟2階 214号室）☎ 0774-38-4381

桂分室（Bクラスター福利・保健管理棟2階）☎ 075-383-7308



11番 健康管理室

※注意事項 健康管理室には医療機器や薬を置いておらず、投薬や治療などの医療行為は行えません。